

生きもの調査レポート

2025年5月31日 場所：神奈川県愛川町JONA田んぼ 天気：大雨 気温15度

JONA指標田んぼ（看板周辺2瀬の畦、水面）		
動物調査	出現種数	種名
鳥	9種	アオサギ、ダイサギ、ハシブトガラス、カルガモ、スズメ、セッカ、ドバト、ツバメ、ハクセキレイ
は虫類	—	
両生類	1種	アマガエル
貝類	1種	カワニナ（水路）
チョウ類	—	
水生昆虫	5種	カメムシ目：コオイムシ、ヒメアメンボ、コミズムシ 甲虫目：コガムシy、チビゲンゴロウ
トンボ	—	
他昆虫	2種	ハラヒシバッター、イナゴy
クモ	1種	徘徊：キクツキコモリグモ 造網：
その他	2種	ミジンコ類、セスジビル
動物21種 確認 ※y＝幼虫 ▲＝外来種		
目立った生きもの：（ダイサギ6羽、ヒメアメンボ）		

畦草調査	出現種数	種名
在来種	30種	指標田んぼ（2瀬）畦周り：アオカモジグサ、イヌタデ、イヌガラシ、イヌワラビ、オオチドメ、オオバコ、オヒシバ、カキドオシ、カタバミ、カラスノエンドウ、カラスビシャク、カラムシ、ギシギシ、クワ、コモチマンネングサ、コヒルガオ、セリ、ツユクサ、ドクダミ、ナズナ、ノカンゾウ、ノチドメ、ノビル、ハコベ、ヒルガオ、ヘクソカズラ、ヘビイチゴ、メヒシバ、ヨメナ、ヨモギ、イチゴツナギ亜科類
外来種	13種	指標田んぼ（2瀬）畦周り：アカバナユウゲショウ、アメリカイヌホオズキ、アメリカフウロ、イヌムギ、オオイヌノフグリ、オオジシバリ、シマスズメノヒエ、セイヨウタンポポ、タチイヌノフグリ、ネズミムギ、ハルジオン、マメグンバイナズナ、ムラサキカタバミ
植物43種確認 ※畦草の外来種率30.2% ※17世紀（江戸時代）以降は外来種に振り分け。		
目立った草花：ノチドメ（チドメグサ）、ヤブカンゾウ、オオジシバリ		

感想（生きもの調査担当・林 鷹央）：オーガニック圃場の大きな特徴は、食べられる草花（次ページ解説画面）が多いこと。小さいランダムな形状の圃場は、必然的に畦が広がります。それは田園風景の生物多様性を支え、土壌流出や水の富栄養化を抑える大切な要素でもあります。

JONA 愛川田んぼ 解説

動物：大雨のためトンボ、蝶は見られず。鳥は猛禽類以外活動中でした。

植物：2瀬の畦より、食用可能な植物を図にまとめました。

